

2020年8月14日

会長 古城 資久 様

アンチドーピング委員会委員長 蜂須 貢  
同 医科学部会長 鈴木 光

本年度の大会開催等について（提言）

コロナ感染が東京などの大都市のみならず、最近では島根の大学で大規模なクラスターが発生するなど、確実に地方都市にも拡大しています。無症状の感染者が多く、この人たちが知らずにコロナの感染を拡大していることが原因となっていると思われますし、これが大会を開催する上で大きな問題になると思われます。

医科学委員会からのお知らせとして、添付したファイルのようなガイドラインが古城会長名で協会から出ています。

ガイドラインに記載されているマスクなしでのウォーミングアップや試技の実施、又は検量時の密状態を考えると、感染しているが無症状の選手・役員がいた場合に大会後のクラスター発生は避けられないと思っています。大会を開催することによって感染クラスターを生じた場合、JPAのイメージが低下することは避けられないと思います。

アンチドーピング委員会・医科学部会の役割は専門委員会規程第2条（6）に記載されているとおり「競技会における役員、競技者、観客等の安全性を担保するため、医学的知見を収集し助言すること」であるので、同規程に基づき、アンチドーピング委員会内での各委員の意見を集約し、下記のとおり貴職に提言させていただきます。

記

1. 今年度中の全国・ブロック大会等の都道府県をまたいでの大会開催は中止とする。
2. 感染者の少ないあるいは数週間出ていない市町村あるいは県協会では積極的な大会開催を推奨する。

以上